

## 平成 29 年度 指定管理者年度総合評価表

(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月実施分)

作成日	平成 30 年 5 月 29 日
-----	------------------

### ■指定管理者概要

施設名	八戸市児童科学館・八戸市視聴覚ライブラリー	
所在地	八戸市類家四丁目 3-1	
施設概要	<p>《設置目的》子どもたちの科学する心を育てる児童科学館と、学校教育・生涯学習のための視聴覚教材の制作・貸出し・研修を行う視聴覚センターの機能をもつ。三八視聴覚教育協議会の視聴覚ライブラリー業務も行っている。</p> <p>《建物構造》鉄筋コンクリート造 2階建 PH1階 プラネタリウム・視聴覚室・スタジオ・天体観測室</p>	
指定管理者	名称	三八五ふれあいネット 三八五バス株式会社 代表取締役 新井山 長吉 三八五交通株式会社 代表取締役 小笠原 修
	代表者	三八五ふれあいネット
	所在地	八戸市江陽 2-18-37
指定期間	平成 29 年 4 月 1 日～平成 34 年 3 月 31 日	
指定管理者の業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設使用許可及び視聴覚教材教具貸出事務</li> <li>・観覧料徴収事務</li> <li>・施設の運営に関する事務</li> </ul>	
市所管課 (問合せ先)	八戸市教育委員会 (八戸市総合教育センター)	
	電話	0178-46-0521 (直通)
	E-mail	edcenter@city.hachinohe.aomori.jp

### ■指定管理者による自己評価

評価	<p>暖房配管及びパネル改修工事のため、10月6日から11月30日まで休館したが、大きく利用者が減少することなく、前年並みの実績を残すことができた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設の設置目的を理解し、各種法令等を遵守し、関係機関と連携を図りながら、地域で子どもを育てる活動を推進し、教育活動の支援に努めた。また、GWKIDS工房祭やかがくかん祭を開催し、理科・科学の好きな子どもの育成と豊かな人間性の育成を基本とした事業運営を心掛けた。これらの企画の開催時には、高校や大学等からボランティアを募り、協力して運営を行った。さらに、知識や技能の向上を目的に、職員を対象に各種研修を実施した。</li> <li>2 プラネタリウムでは、対象とする世代及び利用者の要望に応じた番組を提供し、イベント時に複数の番組を投影したほか、熟睡プラ寝たリウム等の特別企画を実施した。また、市制施行 88 周年記念特別企画を 8 日間開催し、期間中で 2,000 人以上が観覧した。</li> <li>3 視聴覚ライブラリーの利便性の向上を目的に 26 年度より移動ライブラリーを実施している。三八管内市町村教育委員会、小・中学校を中心に、当館所有の視聴覚教材等を紹介し、周知活動を行った。</li> <li>4 休館期間中は、学校へ出向いての天体観測及び出前授業、児童館等での工作教室や実験ショー等、館外活動を積極的に行った。その結果、参加人数が前年度を 19.4% 上回った。</li> <li>5 緊急時動員体制、情報連絡体制及び安全確保についてのマニュアルを作成し、災害に対して全職員が共通理解を図った。また、関係機関と連携し、地震及び火災を想定した訓練を実施したほか、普通救命講習を開催し、AED の正しい使い方や心肺蘇生法を習得した。さらに、毎日敷地内外を巡回し、異常の有無を確認した。</li> <li>6 改善点を見直し、より良い施設運営を目指すため、職員による自己評価を実施した。</li> </ol> <p>以上のことから、指定管理者として、各種法令等を遵守した管理運営を適切に実施することができたとともに、職員各自が参画意識を持ち、創意工夫を生かした企画等を実施できた。</p>
----	---

今後の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 職員の知識・技能の向上を図り、指導力の向上を図る。</li> <li>2 生解説番組を増やし、プラネタリウムの充実及び多様化を図る。</li> <li>3 児童科学館の活動をより知ってもらうために、これまで以上に館外活動に注力する。</li> <li>4 各教育機関・関係団体の声を最大限に生かし、「施設の新しい魅力づくり」を行う。</li> <li>5 災害等の緊急事態に素早く対応できるように、職員の危機管理能力の向上を図る。</li> <li>6 当館所有の視聴覚教材等についてさらに周知活動を徹底し、貸出件数の増加を図る。</li> </ol>
-------	---

■市（所管課）の総合評価

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暖房配管及びパネル改修工事により約2ヶ月間休館したにも関わらず、年間入館者数はそれほど減少せず、むしろ休館期間を除く月平均の入館者数は前年度を上回った。また、休館中は、学校等へ出向いての天体観測、工作教室等を積極的に行うなど参加者の増加に努めており、その点が大いに評価できる。</li> <li>・八戸市市制施行88周年企画「プラネタリウム無料開放8days!」や「熟睡プラ寝たりウム」等の特別投影を開催するなど、魅力あるプラネタリウム番組を提供した。</li> <li>・常に各事業について改善を図り、新しい取組を模索するなど、前向きな運営に努めている。</li> </ul>
指摘事項	特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	業務基準書に示された内容と比べ、開館時間延長や休館日を減らすなど、市民サービスの向上に努めていた。 ・平日・日祝日は1時間30分延長し8:30から17:00まで、第2・4土曜日は4時間30分延長し8:30から20:00まで開館した。
法令の遵守	○	法令、条例や運営規則、施行規則を確認しながら業務を遂行していた。
適正な人員配置	◎	業務基準書に示された水準以上の管理運営をするために必要な人員及び資格者を配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況 ※募集時に提案していた場合(選定時加点)	○	提案内容のとおり雇用していた。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合(選定時加点)	◎	提案内容を上回る地域貢献活動が行われていた。 ・天文教育普及研究会東北支部研究会の会場として利用 ・八戸市庁前市民広場で皆既月食観望会を実施 等
従事者の教育・研修	◎	接客・接遇についてやげがへの対処法など、定期的に研修会を行っている。
緊急事態への対応	◎	緊急事態の対応マニュアルを作成し、年2回の避難訓練及び年1回の普通救命講習を実施した。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書は適切に管理保存されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告、事業報告、その他報告等が適切に提出されていた。

利用料金の取扱い ※承認料金制の場合	○	観覧料等の徴収事務が適切に行われていた。
利用料金の減免 ※承認料金制の場合	○	市で示した基準通りに減免が行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理者専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑それぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし
指定管理開始前における準備	○	21年度から23年度まで、24年度から28年度まで及び平成29年度と指定管理者の指定を受けていたので、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	○	21年度から23年度まで、24年度から28年度まで及び平成29年度と指定管理者の指定を受けていたので、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	○	書類の届出が適切に行われた。 ・教育委員会承認事項に関わる届出は適切に行われた。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。 (使用制限、条件の変更、入場拒否はなかった。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な業務が適切に行われていた。

2 運営状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館日数	○	暖房配管工事に伴う休館(10/6～11/30)のため、前年度より開館日数が減少した。 28年度 315日 29年度 272日
入館者数	○	暖房配管工事に伴う休館(10/6～11/30)のため、入館者数が前年度より減少した。ただし、休館期間を除く月平均の入館者数は前年度を上回った。 入館者数 28年度 99,771人 29年度 94,642人(前年度比 94.9%) 月平均入館者数 28年度 8,314人 29年度 9,464人
プラネタリウム観覧者数	○	暖房配管工事に伴う休館のため、前年度より観覧者数が減少したが、前年度並であった。 28年度 14,728人 29年度 14,199人(前年度比 96.4%)

<p>施設利用状況</p>	<p>◎</p>	<p>自主事業の成果及びPRの効果もあり、施設の利用者数が前年度を上回った。(施設利用者数 4.4%)</p> <table border="1" data-bbox="635 215 1471 465"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">28年度</th> <th colspan="2">29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スタジオ</td> <td>3件</td> <td>6人</td> <td>0件</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>視聴覚室</td> <td>218件</td> <td>4,918人</td> <td>185件</td> <td>3,858人</td> </tr> <tr> <td>実習室</td> <td>68件</td> <td>1,639人</td> <td>55件</td> <td>1,915人</td> </tr> <tr> <td>講義室</td> <td>67件</td> <td>4,886人</td> <td>70件</td> <td>5,700人</td> </tr> <tr> <td>天体観測室</td> <td>25件</td> <td>706人</td> <td>20件</td> <td>469人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>381件</td> <td>11,435人</td> <td>330件</td> <td>11,942人</td> </tr> </tbody> </table>		28年度		29年度		スタジオ	3件	6人	0件	0人	視聴覚室	218件	4,918人	185件	3,858人	実習室	68件	1,639人	55件	1,915人	講義室	67件	4,886人	70件	5,700人	天体観測室	25件	706人	20件	469人	合計	381件	11,435人	330件	11,942人
	28年度		29年度																																		
スタジオ	3件	6人	0件	0人																																	
視聴覚室	218件	4,918人	185件	3,858人																																	
実習室	68件	1,639人	55件	1,915人																																	
講義室	67件	4,886人	70件	5,700人																																	
天体観測室	25件	706人	20件	469人																																	
合計	381件	11,435人	330件	11,942人																																	
<p>プラネタリウム利用状況</p>	<p>○</p>	<p>八戸市市制施行88周年企画「プラネタリウム無料開放8days!」等の特別投影により、観覧者数は前年度並みであった。</p> <table border="1" data-bbox="612 580 1455 819"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">28年度</th> <th colspan="2">29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人観覧者数</td> <td colspan="2">8,080人</td> <td colspan="2">6,922人</td> </tr> <tr> <td>団体観覧者数 (上段減免、下段有料)</td> <td>119件</td> <td>4,604人</td> <td>111件</td> <td>3,920人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1件</td> <td>60人</td> <td>5件</td> <td>210人</td> </tr> <tr> <td>減免観覧者数</td> <td>152件</td> <td>1,802人</td> <td>116件</td> <td>4,130人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td colspan="2">14,728人</td> <td colspan="2">14,199人</td> </tr> </tbody> </table>		28年度		29年度		個人観覧者数	8,080人		6,922人		団体観覧者数 (上段減免、下段有料)	119件	4,604人	111件	3,920人		1件	60人	5件	210人	減免観覧者数	152件	1,802人	116件	4,130人	合計	14,728人		14,199人						
	28年度		29年度																																		
個人観覧者数	8,080人		6,922人																																		
団体観覧者数 (上段減免、下段有料)	119件	4,604人	111件	3,920人																																	
	1件	60人	5件	210人																																	
減免観覧者数	152件	1,802人	116件	4,130人																																	
合計	14,728人		14,199人																																		
<p>視聴覚教材貸出し状況</p>	<p>○</p>	<p>三戸郡の登録団体(小中高等学校、こども会、PTA等)への教材の無料宅配、市内学校・公民館へメール便の活用、移動ライブラリーの実施等に取り組んだ。</p> <p>29年度 1,070本(目標1,114本、達成度96.1%)</p> <table border="1" data-bbox="635 1014 1299 1234"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16ミリ映画</td> <td>68本</td> <td>99本</td> </tr> <tr> <td>ビデオ教材</td> <td>238本</td> <td>106本</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>726本</td> <td>766本</td> </tr> <tr> <td>機材</td> <td>126機</td> <td>99機</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,158本</td> <td>1,070本</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	16ミリ映画	68本	99本	ビデオ教材	238本	106本	DVD	726本	766本	機材	126機	99機	合計	1,158本	1,070本																	
	28年度	29年度																																			
16ミリ映画	68本	99本																																			
ビデオ教材	238本	106本																																			
DVD	726本	766本																																			
機材	126機	99機																																			
合計	1,158本	1,070本																																			
<p>自主事業及び委託事業の実施状況</p>	<p>◎</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託事業では、わくわくサイエンスや青少年のための科学の祭典への協力、移動天文教室、少年少女発明クラブ、天文クラブ等の12の事業を実施した。各教育機関との連携を密にしたほか、八戸天文同好会、科学であそび隊、星好きんず等、地域のボランティア団体、学生及びその他の有識者や市民と協力して事業を実施した。</li> <li>・4つの研修会や講座を企画及び実施した。中でも、小中学校アナウンス講習会では、プロのアナウンサーから発声の基本や校内放送の仕方等の指導を受けた。また、映像利用学習会では、生涯学習や社会教育についての講演会を9回実施し、195人の参加者があった。</li> <li>・下記の自主事業を始め26の自主事業を行い、47,445名の参加があった。特に科学館キッズ工房は、多くのリピーターを獲得しているほか、天文教育普及研究会東北支部研究会の開催など、新しい取組も行った。さらに、八食わくわくフェスタや八戸市環境・健康フェスタなどの館外活動にも精力的に取り組み、科学工作に触れる機会を増やした。これらの事業を通じて、市民の科学する心を育んだ。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="635 1850 1241 2136"> <thead> <tr> <th>主な自主事業</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>科学館キッズ工房</td> <td>32,369人</td> </tr> <tr> <td>かがくかん祭</td> <td>3,581人</td> </tr> <tr> <td>神話おばけ屋敷</td> <td>685人</td> </tr> <tr> <td>八食わくわくフェスタ出展</td> <td>982人</td> </tr> <tr> <td>八戸市環境・健康フェスタ</td> <td>1,000人</td> </tr> <tr> <td>天文教育普及研究会</td> <td>66人</td> </tr> <tr> <td>算数クイズを楽しもう</td> <td>40人</td> </tr> </tbody> </table>	主な自主事業	参加者数	科学館キッズ工房	32,369人	かがくかん祭	3,581人	神話おばけ屋敷	685人	八食わくわくフェスタ出展	982人	八戸市環境・健康フェスタ	1,000人	天文教育普及研究会	66人	算数クイズを楽しもう	40人																			
主な自主事業	参加者数																																				
科学館キッズ工房	32,369人																																				
かがくかん祭	3,581人																																				
神話おばけ屋敷	685人																																				
八食わくわくフェスタ出展	982人																																				
八戸市環境・健康フェスタ	1,000人																																				
天文教育普及研究会	66人																																				
算数クイズを楽しもう	40人																																				

<p>その他の取組</p>	<p>◎</p> <p>(市立図書館映像利用鑑賞会) 市立図書館2階において、市民を対象とした上映会や講演会を実施した。上映会では、当館保有の映像教材を活用し、講演会では、講師が世界遺産の映像を紹介した。全9回実施し、202人の参加者があった。</p> <p>(星空案内人講座) 天文に関する知識、望遠鏡の操作方法及び宇宙物理学など、広い分野について学習する、星空案内人の資格を取得するための講座で、全7回の講座を開講した。</p> <p>(海と船～戦艦大和を語る～) 戦艦大和について、講師が作成した模型を見ながら、役割、歴史及び館内での生活などの解説を受けた。</p> <p>(皆既月食観望会) 八戸天文同好会や星好きんずなどの協力により、児童科学館及び市庁前市民広場で皆既月食を観望し、皆既月食の仕組みの解説を行った。</p> <p>(出前事業の充実) ※幼稚園、保育園、認定子ども園、小学校、公民館、児童館との連携事業 小学校、公民館、児童館等において、出前事業を実施した。単に工作するだけではなく、疑問を持たせ解決に導くという順序を経て行うことで、児童の科学する心を育むことができた。</p> <p>(他施設との連携事業) 南郷図書館と連携して星空観望会を実施し、高い評価を得た。また、田中館愛橋記念科学館(二戸市)において工作及び実験ショーの研修を行った。</p> <p>(館内外の安全管理) 朝夕に敷地内外を巡回し、館内点検を定期的実施した。また、施設の安全管理と異常箇所の早期発見に努め、迅速に対応した。</p> <p>(職員のスキル向上研修の実施) 1 知識・技能の向上を目的に各種研修の年間計画を作成・実施した。 2 科学館でのイベント企画と全国のプラネタリウム関係者との情報交換を目的に、全国プラネタリウム研修会に参加した。 3 工作教室の開催と参加者同士の情報交換を目的に、子どもの体験活動指導者講習に参加した。 4 全国科学館連携協議会東北ブロック会議に参加し、科学工作の研修を受けたほか、東北地区の科学館との情報交換を行った。 5 AEDの使い方、心肺蘇生法等に対しての対処法を学んだ。</p>
---------------	---

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																									
<p>指定管理業務の収支状況</p>	<p>○</p>	<p>適切な収支で事業が円滑に実施されていた。</p> <p>(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">収入 ①</td> <td>利用料金</td> <td>855,000</td> <td>763,130</td> <td>828,580</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>35,542,000</td> <td>35,542,000</td> <td>35,239,000</td> </tr> <tr> <td>修繕料繰越金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>43,938</td> </tr> <tr> <td>自主事業繰入金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>36,255</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>36,397,000</td> <td>36,305,130</td> <td>36,147,773</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">支出 ②</td> <td>人件費</td> <td>23,966,000</td> <td>23,473,822</td> <td>23,681,720</td> </tr> <tr> <td>維持管理経費</td> <td>7,232,000</td> <td>6,686,561</td> <td>7,077,237</td> </tr> <tr> <td>事業費・一般事務費</td> <td>3,282,000</td> <td>2,879,022</td> <td>3,012,168</td> </tr> <tr> <td>消費税</td> <td>1,917,000</td> <td>1,928,127</td> <td>1,894,740</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>36,397,000</td> <td>34,967,532</td> <td>35,665,865</td> </tr> <tr> <td></td> <td>次年度修繕料繰越金③</td> <td>0</td> <td>51,680</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収入－支出(①-②-③)</td> <td>0</td> <td>1,285,918</td> <td>481,908</td> </tr> </tbody> </table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入 ①	利用料金	855,000	763,130	828,580	指定管理料	35,542,000	35,542,000	35,239,000	修繕料繰越金	0	0	43,938	自主事業繰入金	0	0	36,255	計	36,397,000	36,305,130	36,147,773	支出 ②	人件費	23,966,000	23,473,822	23,681,720	維持管理経費	7,232,000	6,686,561	7,077,237	事業費・一般事務費	3,282,000	2,879,022	3,012,168	消費税	1,917,000	1,928,127	1,894,740	計	36,397,000	34,967,532	35,665,865		次年度修繕料繰越金③	0	51,680	0		収入－支出(①-②-③)	0	1,285,918	481,908
	項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																							
収入 ①	利用料金	855,000	763,130	828,580																																																							
	指定管理料	35,542,000	35,542,000	35,239,000																																																							
	修繕料繰越金	0	0	43,938																																																							
	自主事業繰入金	0	0	36,255																																																							
	計	36,397,000	36,305,130	36,147,773																																																							
支出 ②	人件費	23,966,000	23,473,822	23,681,720																																																							
	維持管理経費	7,232,000	6,686,561	7,077,237																																																							
	事業費・一般事務費	3,282,000	2,879,022	3,012,168																																																							
	消費税	1,917,000	1,928,127	1,894,740																																																							
	計	36,397,000	34,967,532	35,665,865																																																							
	次年度修繕料繰越金③	0	51,680	0																																																							
	収入－支出(①-②-③)	0	1,285,918	481,908																																																							

自主事業の収支状況	○	<p>適切な収支で事業が円滑に実施されていた。</p> <p>総収入 2,700,200 円（前年度実績 2,218,450 円）</p> <p>総支出 2,656,819 円（前年度実績 2,188,559 円）</p> <p>収 支 43,381 円</p>
-----------	---	---

#### 4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	<p>利用者満足度調査及びその結果を活かす仕組みができていた。</p> <p>・利用者アンケートの月毎の集計結果を館内に掲示していた。</p>
施設概要(利用方法)の周知	○	<p>施設概要や利用方法等を広報やホームページ、施設だより等で積極的に周知していた。</p> <p>・市内小中学校および幼稚園・保育園等に、館だよりでイベントや自主事業について情報を伝えていた。</p>
苦情・要望等の受付体制	○	利用者ご要望ボックスを設置し、苦情・要望等の受付体制を明示していた。
苦情・要望等への対応	○	苦情・要望等に対し適切に対応していた。（要望 47 件）
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	<p>コストの削減に努め、環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。</p>

#### ■他の事業評価実施状況

##### 1 セルフモニタリング

	実施状況
自主点検状況	<p>・有識者による外部評価を実施し、改善点を見直しより良い館運営を目指していた。</p> <p>・利用者アンケート結果に関して、問題点の克服に向けた取組を検討した。</p>

##### 2 定期モニタリング

	実施状況
定期報告状況	月例報告書などにより、運営・収支状況などのモニタリングを行った。遅滞なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	5回	4月11日	所長・GL・担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度の業務報告、29年度の運営の見通しや今後の予定について報告を受けた。</li> <li>・修繕等に関わる設備の確認</li> </ul>
		6月8日	GL・担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営状況の確認</li> <li>・暖房配管・パネル改修工事や廃棄物の処理等に関する意見交換</li> </ul>
		9月13日	GL・担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営状況の確認</li> <li>・暖房配管・パネル改修工事期間中の取組についての意見交換</li> </ul>
		11月15日	GL・担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営状況の確認（暖房配管・パネル改修工事期間中の具体的取組）</li> <li>・修繕等に関わる設備の確認</li> </ul>
		2月16日	GL・担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・29年度の事業の振り返り</li> <li>・30年度の計画・企画について意見交換</li> </ul>
<b>実施結果</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定していた事業や内容について、適正な管理運営を行っていた。</li> <li>・暖房配管・パネル改修工事による休館中は、学校等へ出向いての天体観測や工作教室などを積極的に行い、参加者の増加に努めていた。</li> <li>・市民からの要望を真摯に受け止め、施設の整備をするなど適切に対処していた。</li> </ul>				

※GL：グループリーダー